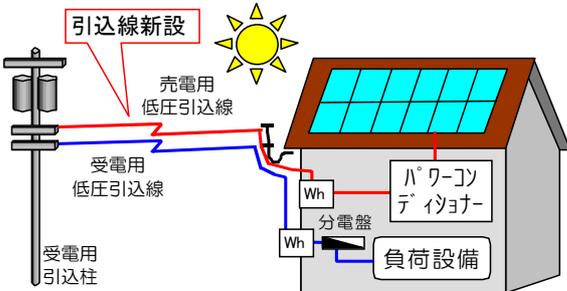
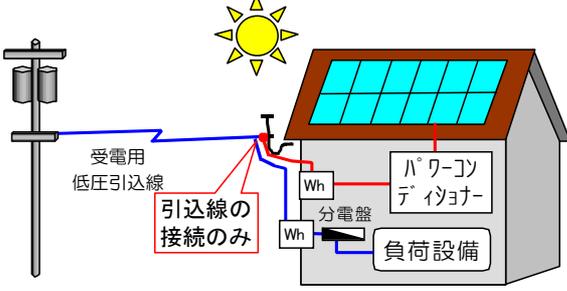
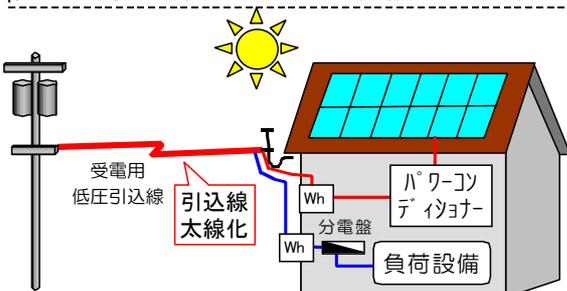


<引込線工事例と負担金の考え方>

引込線工事例	負担金の考え方
<p data-bbox="231 398 491 443"><別引込方式①></p>  <p data-bbox="207 750 805 779">なお、受電用引込柱以外の電柱からの引込についても技術的に可能です。</p>	<p data-bbox="853 398 1093 443"><別引込方式①></p> <p data-bbox="877 470 1380 616">発電した電気を全量買取するための引込線を新設する場合、引込線を新設するための工事費の全額を負担金として申し受けます。</p>
<p data-bbox="231 819 790 896"><共用引込方式[Y字分岐]②-1> 受電用引込線容量\geq発電設備容量の場合</p> 	<p data-bbox="853 819 1340 864"><共用引込方式[Y字分岐]②-1></p> <p data-bbox="877 896 1380 1064">発電設備容量が受電用引込線容量を下回る場合、引込線の張替えは不要ですが、配線を接続するための工事費の全額を負担金として申し受けます。</p>
<p data-bbox="231 1240 790 1317"><共用引込方式[Y字分岐]②-2> 受電用引込線容量<発電設備容量の場合</p> 	<p data-bbox="853 1240 1340 1285"><共用引込方式[Y字分岐]②-2></p> <p data-bbox="877 1317 1380 1467">発電設備容量が受電用引込線容量を上回る場合、引込線を太い線に張り替えるための工事費の全額を負担金として申し受けます。</p>

※負担金は、既設設備の状況等により異なります。また、通信線等との離隔確保など保安上の理由により、引込線をケーブルにするなどの特殊工事が必要な場合があります。

※上記の他に、売電用の計量装置の費用をご負担いただきます。また、発電設備の容量が大きく、低压線や変圧器の取替などが必要な場合は、別途必要な工事費の全額を負担金として申し受けます。